

2020年度 第11回 研究倫理委員会 議事録

(文中敬称略)

日時：メール会議 (2月1日～3日)

参加対象者：岸 貴介、藤田高史、安倍基幸、筒井秀代、加藤省三、越智 亮、中谷直史、杉浦優子
間瀬和哉、壽川浩子

審議事項

- 1) 次年度外部委員：能島外部委員が3月で任期を満了するので対応する必要がある。
(同外部委員からは、今年度までにしたいとの意思を確認済。)

<審議結果>

同外部委員より後任に推薦いただいた次の方に依頼する。

青山京子 修文大学看護学部准教授 (専門分野：地域・在宅看護学)

- 2) 次年度研究倫理講習について

<審議結果>

本学の研究倫理講習として、引き続き eAPRIN (APRIN の e-learning) を利用する。

受講者が100名を超えても対応可能となるよう、予算を今年度並みに確保する。

コースおよび内容は、基本的に今年度を踏襲する。

大型連休前に案内可能となるよう、事務手続きを始めとした準備を進める。

現行の「倫理講習修了証」は「研究倫理講習修了証」へ改称する。

報告事項

- 1) 新規の許可証発行：無し
- 2) 研究倫理審査一覧の掲載：大学ウェブサイトに12月24日承認分までが掲載済
- 3) 議事録の掲載：大学および厚生労働省関係のウェブサイトに2020年度第10回分まで掲載済
- 4) 倫理講習修了証の新規発行：無し (倫理2020087までを発行済)

<2月2日現在の修了データ>

全体	: 99%	(85名/86名)
経営学部	: 100%	(36名/36名)
リハビリテーション学部	: 100%	(24名/24名)
大学院生	: 100%	(9名/9名)
研究員	: 100%	(12名/12名)
その他	: 80%	(4名/5名)

※未受講者には事務より働き掛ける。

- 5) リハビリテーション学部卒業研究倫理審査：新規の承認は無し
- 6) 動物実験の外部検証 令和3年度の実施に向けた事前説明会・個別相談会 (1月22日) :
委員会からは中谷委員が参加。実験動物の取り扱い、文科省が推奨している外部検証の必要性と実施についての説明を受けた。
- 7) 次年度予算：今年度を踏襲するものとする

次回開催予定：3月3日 (水) を含む数日 (審査申請締切：2月24日 (水) 午後5時)